

# プログラム

## 【第1会場】

8:45~9:00 開会・会長講演

第6回国際臨床医学会学術集会 会長

國土典宏 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター (NCGM))

9:00~9:50 一般口演1 国際臨床医学に関する課題

座長：針田 哲 (国立国際医療研究センター企画戦略局)

01-1 検疫データから見る水際対策の課題について

山田 秀臣 (東京大学医学部附属病院 国際診療部)

01-2 外科医の国際医療協力の意義

長阪 智 (国立国際医療研究センター病院)

01-3 パレスチナ赤新月社医療支援事業～ハイブリッド医療支援の可能性～

益田 充 (日本赤十字社和歌山医療センター 外傷救急部/外科/精神科/国際医療救援要員)

01-4 COVID-19感染拡大に伴う国際遠隔医療カンファレンス参加登録方法の改善

早田 美帆 (九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター)

01-5 ミャンマーへの継続的な医療教育支援の試み

森山 智彦 (九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター)

9:50~10:50 要望セッション1 「だれひとり取り残されない」対策への配慮

オーガナイザー：山田 秀臣 (東京大学医学部附属病院 国際診療部)

モデレーター：南谷 かおり (地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 国際診療科)

堀 成美 (公益社団法人 東京都看護協会)

**RL1 医療通訳：医療機関におけるOJT実施の課題**

RL1-1 望まれる医療機関における医療通訳者の研修システムについて

松崎 淳人 (東邦大学医学部医学科精神神経医学講座 (佐倉))

RL1-2 本年度医療通訳OJT研修の内容について

山田 紀子 (一般社団法人 通訳品質評議会)

RL1-3 医療機関からの研修の実際

今井 貴子、鄭 蓮花 (社会福祉法人 三井記念病院)

RL1-4 企業におけるOJTへの取り組み

澤田 真弓 (メディフォン株式会社)

10:50~11:50 共催セミナー1 ポストコロナを支える5-アミノレブリン酸

座長：狩野 繁之 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター (NCGM))

SS1-1 抗マラリア薬候補5-アミノレブリン酸 (5-ALA) の抗新型コロナウイルス作用

北 潔 (長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科/東京大学名誉教授)

SS1-2 COVID-19の後遺症を有する症例に対する5-アミノレブリン酸を含む健康食品の臨床研究について

今村 恭子 (東京大学大学院薬学系研究科ITヘルスケア社会連携講座/一般社団法人医療開発基盤研究所)

共催：ネオファーマージャパン株式会社/ウェルビーヘルス株式会社

## 12:00~13:00 共催セミナー2 (ランチョン) COVID-19の診断技術革新

座長：溝上 雅史 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所 ゲノム医学プロジェクト)

### SS2 COVID-19の診療と最新のトピックス

大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター)

共催：シスメックス株式会社

## 13:10~14:00 特別講演

座長：國土 典宏 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター (NCGM))

### SP-1 COVID-19対策への国内の体制づくりとGlobal Healthの戦略

武見 敬三 (参議院議員)

## 14:00~15:00 要望セッション2 グローバルヘルス教育による国際協力の推進

モデレーター：地引 英理子 (国立国際医療研究センターグローバルヘルス人材戦略センター)

### RL2 コロナ時代のインバウンド・アウトバウンド医療で求められるグローバルヘルス人材とは

#### RL2-1 次世代国際保健リーダーの模索と提案

中谷 比呂樹 (国立国際医療研究センターグローバルヘルス人材戦略センター)

#### RL2-2 コロナ禍の国際診療で求められるグローバルヘルス人材

杉浦 康夫 (国立国際医療研究センター国際診療部)

#### RL2-3 コロナ禍の保健医療研究分野において求められるグローバルヘルス人材

磯 博康 (国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター)

#### RL2-4 コロナ対策を行う国際機関で求められるグローバルヘルス人材

北島 千佳 (Gaviワクチンアライアンス)

## 15:10~16:10 要望セッション3 非感染症疾患対策

モデレーター：新垣 智子 (地方独立行政法人 りんくう総合医療センター)

### RL3 外国人妊産婦の対応

～日本国際看護師 (NiNA) がそれぞれの施設での経験を踏まえて  
編集したマニュアル本の活用及びNiNAの今後の活動を考える～

#### RL3-1 外国人妊産婦の対応ができるスタッフの育成

許 由希 (済生会中津病院 産婦人科病棟 国際診療支援センター)

#### RL3-2 クリニックにおける外国人妊産婦への対応

坂根 由紀絵 (協本産婦人科・麻酔科)

#### RL3-3 外国人の妊婦健診チェックリストの活用

土井 智恵子 (りんくう総合医療センター 産婦人科病棟感染症センター)

## 16:10~17:10 要望セッション4 国境を越える人々への医療

モデレーター：野村 亜希子 (International SOS Pte Ltd.)

### RL4 コロナ禍で邦人の国際医療搬送 ～キープレイヤーの迅速な判断が生死を分ける～

#### RL4-1 COVID-19パンデミック時の駐在員の安全確保について～企業内診療所の役割～

伊藤 誠悟 (三菱商事株式会社 診療所)

#### RL4-2 パンデミック禍での医療アシスタンスは横の連携が不可欠

葵 佳宏 (インターナショナルSOSジャパン)

#### RL4-3 大使館の医務官の役割

中村 燈喜 (在スリランカ日本国大使館)

RL4-4 検疫所の役割

守屋 章成 (名古屋検疫所)

RL4-5 受け入れ医療機関の役割

馳 亮太 (日本赤十字社成田赤十字病院 感染症科)

17:20~18:20 要望セッション5 PHCとUHCへの取り組み

モデレーター：三好 知明 (一般社団法人 Medical Excellence JAPAN (MEJ))

**RL5 PHCとUHCへの取り組み**

RL5-1 UHCコミットメントとその進捗状況

渡部 明人 (UHC2030事務局)

RL5-2 ウィズコロナ時代のUHC：JICAの取り組みと課題

牧本 小枝 (独立行政法人国際協力機構緒方貞子平和開発研究所)

RL5-3 高齢社会、COVID-19、新たな課題が突きつける医療提供体制の変革

野田 信一郎 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際医療協力局)

RL5-4 コロナ禍におけるボリビアのPHCとUHCの現状～南米最貧国の課題～

萩原 華蓮 (JICA)

**【第2会場】**

9:00~9:40 一般口演2 受け入れ体制の課題(1) 国内外国人患者

座長：杉浦 康夫 (国立国際医療研究センター病院国際診療部)

02-1 コロナ禍で経験した対応に苦慮した外国人患者2症例

祁 潔 (九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター)

02-2 外国人と日本人の日本国内の死亡に関する人口動態統計からみた医療格差の検討

石原 百華 (大阪大学医学部 医学科)

02-3 救急科を受診した外国人患者の動態調査

佐伯 壮一郎 (大阪大学医学部 医学科)

02-4 外国人労働者の労災について

山田 秀臣 (東京大学医学部附属病院 国際診療部)

9:40~10:10 一般口演3 受け入れ体制の課題(2) 医療ツーリズム

座長：中村 安秀 (公益社団法人日本WHO協会)

03-1 医療インバウンド業界に対するアンケート調査報告と課題提起

伊藤 佳奈 (偕行国際医療株式会社)

03-2 海外オンラインセカンドオピニオンの実績と課題

別府 佳代子 (国立国際医療研究センター病院 国際診療部)

03-3 医師側からみた医療ツーリズムにおける諸問題

長阪 智 (国立国際医療研究センター病院)

10:10~10:50 一般口演4 受け入れ体制の課題(3) コーディネーター、看護

座長：田村 純人 (東京大学医学部附属病院国際診療部)

04-1 病院における外国人患者受け入れ医療コーディネーターのやりがい

吉川 千恵 (佼成病院)

04-2 コミュニケーションギャップを生じた血液疾患患者への医療通訳の支援

明石 雅子 (国立国際医療研究センター病院 国際診療部)

04-3 看護師が在留外国人患者に「やさしい日本語」を用いて説明した場合の相互理解度の評価

鈴木 尚美 (社会医療法人寿楽会 大野記念病院)

04-4 看護管理に活かす看護国際化ガイドラインの開発と活用への課題

野地 有子 (千葉大学大学院看護学研究院)

14:20~15:10 一般口演5 医療通訳の様々な課題

座長: 森山 智彦 (九州大学病院アジア遠隔医療開発センター)

05-1 病院内手話言語通訳者の実態調査に見る「派遣型」の相違点と課題

吉田 将明 (田辺薬局綱管通り店)

05-2 J-MIND (日本災害医療通訳ネットワーク) 発足のお知らせ

~災害時においても「だれひとり取り残されない」ために~

益田 充 (日本赤十字社和歌山医療センター 外傷救急部/外科/精神科/国際医療救援要員)

05-3 認定医療通訳士試験の現状と病院実習

渡部 昌樹 (一般社団法人日本医療通訳協会 事務局)

05-4 医療通訳業務と行動規範のはざま

有田 奈未 (九州大学病院 国際医療部国際診療支援センター)

05-5 医療現場における自動翻訳機の利用とその課題

杉浦 康夫 (国立国際医療研究センター病院 国際診療部)

【第3会場】

8:45~18:20 ポスター発表

P-1 当院におけるCOVID-19患者に対する気管切開術後の予後検討

住谷 隆輔 (国立国際医療研究センター病院)

P-2 国際医療研修受入におけるCOVID-19パンデミックによる入国制限の影響~東京大学医学部附属病院の経験~

藤田 美里 (東京大学医学部附属病院)

P-3 中国人新型コロナウイルス感染症入院患者への通訳介入の取り組み

渡邊 雅子 (東京都立広尾病院 薬剤科)

P-4 多言語 (61言語) ビデオチャットシステムの開発事例報告

瀧澤 清美 (特定非営利活動法人地域診療情報連携協議会)

P-5 OJTによるベトナム語医療通訳者育成の試み

永尾 真美 (大阪急性期・総合医療センター)

P-6 順天堂大学大学院における医療通訳養成コースの現状

大野 直子 (順天堂大学国際教養学部)

P-7 フェイスブック・LINE・Zoomを使った医療通訳練習会の試みについて

佐藤 桂子 (公益財団法人 ひろしま国際センター)

P-8 本院における新型コロナウイルス感染症に伴う国際患者受入れの変動と新たな取り組み

相良 理香子 (九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター)

P-9 渡航患者受入れの推移とCOVID-19パンデミックによる影響について~東京大学医学部附属病院の経験~

藤田 美里 (東京大学医学部附属病院)

P-10 「オリンピック・パラリンピック東京2020大会指定病院」を経験して

石井 健 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院)

P-11 小児医療における患者家族滞在施設に関する国際比較

関口 ひろみ (東京大学医学部附属病院看護部)

## 医療通訳士認定講習会

### 【第2会場】

15:10~16:10 医療通訳士認定講習会1 感染症

医療通訳と感染症

忽那 賢志 (大阪大学大学院 医学系研究科感染制御学 教授)

16:20~17:20 医療通訳士認定講習会2 医療安全

チーム医療と医療クオリティマネジメント

中村 京太 (大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 部長・特任教授)

17:20~18:20 医療通訳士認定講習会3 実務と倫理

改めて考える医療通訳の役割と行動規範

押味 貴之 (国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター准教授、  
国際医療福祉大学大学院 「医療通訳・国際医療マネジメント分野」 分野責任者)